

# 福田 吉博 教授 略歴

1950年10月20日 岡山県総社市に生まれる

## 【学歴】

- 1969年3月 兵庫県立芦屋高等学校卒業
- 1973年3月 関西学院大学法学部法律学科卒業 法学士
- 1973年4月 名古屋大学法学部研究生（1974年3月まで）
- 1976年3月 関西学院大学大学院法学研究科修士課程修了 法学修士
- 1978年4月 関西学院大学大学院法学研究科博士課程入学
- 1981年4月 足立峰一郎記念奨学生（1982年3月まで）
- 1982年3月 関西学院大学大学院法学研究科博士課程単位取得満期退学
- 1982年4月 関西学院大学大学院法学研究科研究員（1991年3月まで）

## 【職歴】

- 1984年4月 日本学術振興会奨励研究員（1985年3月まで）
- 1987年4月 大阪経済法科大学法学部非常勤講師（1991年3月まで）
- 1990年4月 四条畷女子短期大学教養学科非常勤講師（1991年3月まで）
- 1991年4月 関西学院大学法学部専任講師
- 1995年4月 同 助教授
- 1999年4月 関西学院大学大学院法学研究科修士課程指導助教授
- 1999年9月 ロンドン大学高等法律研究院訪問研究員（2001年3月

まで)

2005年4月 関西学院大学法学部教授

2019年3月 関西学院大学定年退職

(学会等における活動)

国際法学会会員 (1978年から現在に至る), 世界法学会会員 (1978年から現在に至る)

## 主要論著

### 【共著】

「包括的国外犯処罰規定の新設」, 「人質による強要行為等の処罰に関する法律の一部改正」

『コンピュータ犯罪等に関する刑法一部改正 (注釈) 改訂増補版』所収  
(成文堂, 1989年2月)

「地球環境問題」 『国際関係』所収 (世界思想社, 1993年2月)

「留保」, 「条約の無効原因」

『プラクティス国際法』所収 (東信堂, 1998年8月)

「地球環境問題」 『新版国際関係』所収 (世界思想社, 2001年1月)

「上部シレジア事件に関する常設国際司法裁判所の判例」, 「自由地帯事件に関する常設国際司法裁判所の判例」

『判例国際法』所収 (東信堂, 2001年10月)

### 【論文】

「ユース・コーゲンスに関する諸規則の形成過程—国際法委員会および条約法会議における討議を中心として—」

8(8) 法と政治 71巻1号 (2020年5月)

『法と政治』第31巻第3・4号（1980年11月）

「条約違反とウィーン条約法条約」

『法と政治』第35巻第1号（1984年1月）

「解釈宣言に関する一考察」 『法と政治』第36巻第2号（1985年6月）

「両立性の基準とウィーン条約法条約」

『法と政治』第41巻第2・3号（1990年9月）

「条約の改正（一）—ウィーン条約法条約第三十九条，四十条及び四十一条の起草過程の検討—」 『法と政治』第45巻3号（1994年9月）

「条約の改正（二・完）—ウィーン条約法条約第三十九条，四十条及び四十一条の起草過程の検討—」

『法と政治』第46巻第1号（1995年3月）

「人権条約における留保規則—国連国際法委員会の作業をめぐって—」

『法と政治』第55巻第1号（2004年4月）

## 【その他】

（書評）

FRANK HORN, RESERVATION AND INTERPRETATIVE DECLARATION TO MULTILATERAL TREATIES (North-Holland, 1988)

『国際法外交雑誌』第88巻第3号（1990年8月）

（報告書）

「条約の改正及び変更」

『条約法条約の逐条研究』所収（平成4—5年度科学研究費補助〈総合研究A〉研究成果報告書）

(辞典)

「留保」, 「両立性の基準」

『国際関係法辞典』所収 (三省堂, 1995年8月)